


2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [郁文館高等学校・郁文館グローバル高等学校] 担当教諭名 [伊藤 大輔] (2-3年 15名)
 相手国・地域 [スウェーデン]
 海外学校名 [Sinclair Gymnasium] 担当教諭名 [Rory Botha]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	協働ゼミ	自己学習	22
	総合的な学習の時間	自己学習	26

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	How do we act and keep beautiful ocean
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	今回は海における地球温暖化現象について焦点を当てて制作しました。海は遠く離れたスウェーデンと日本をつなぐ唯一の架け橋です。そして私達はその海を共有して使っています。私達が恩恵を多く受けている海、未来まで続く綺麗な海をどのように作っていくかを絵の中で表現しました。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
はじめは、描くものが定まらずにいたが、最終的にはスウェーデンの学校とのバランスをとりつつ、自分達のアイデアを絵の中で最大限に表現することができた。	スケジュールが合わず、相手の生徒さんと直接話し合うことができなかった。メールでのやり取りで長く期間が空いてしまうことも多かった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
本プロジェクトに取り組む前に比べて、より一層、世界で今どのようなことが起きているのかということに関心を持ち、調べるようになった。更に子ども達一人一人が日々の生活のなかで社会課題解決に貢献するような行動を心がけるようになり、環境に優しい行動をするようになった。	世界中でこれからの世界を担っていく若い力が力強く成長をしていることを実感することができた。また、社会事象に対する確かな問題意識を子どもたちの間でしっかりと共有できたことに非常に高い教育効果を実感することができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月	お互いに自己紹介のビデオを撮影し、共有した。	自己紹介のビデオを見て、いよいよ日本とスウェーデンとの共同のプロジェクトを進めて行くことができるのだという期待に満ちていた。	学活 12
共有 テーマ学習	6月	調べたことの共有、テーマぎめ 私達の国は海でつながっている。だから、お互いに共通しているもののほうが親近感がわきやすいと考えた。	まずは自分たちで海洋の問題をインターネットで調べ上げていた。問題だけでなく身の回りの問題も関連付けて原因やアプローチの方法を考えていた。	総合 10
融合 メッセージ作成	11月	メールでの内容の話し合い 海関連から地球温暖化も海に影響を及ぼしている事実があるため。	様々な環境問題が私達を取り巻く中、どのように絵を描いたほうがインパクトがあるのかや生徒自ら考え、活発に意見を共有していた。	総合 12
創造 壁画制作	12月	実際に絵を描く。日本側の担当のところを実際に作り上げたイメージを形にした。	みんなで作り上げたイメージを共有し、仲間内で配色、色の調合なども楽しみながら留学生とも交流を深めながら絵を完成させていた。学年、国を超えてコミュニケーションを取ることができていた。	学活 10
評価 振り返り 自己評価	12月	全体の仕上がりを見る。	完成したものをみんなで見て、納得の行くものができていたのだと思う。約半年かけてやってきたものの達成感を味わっていた。	総合 4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	各自が自国における環境問題やSDGsなどに興味関心を持って調べ学習ができ、その情報を共有することによって理解を深められていた。
異文化を理解する力	5	世界やスウェーデンに対しても、どのような状況にあるのかを調べていた。また、世界での問題に対する取り組み方を学んでいた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	各自で環境問題や海について調べ、共有することができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	持ち寄ったアイデアや情報を話し、一つにまとめ、相手が理解しやすいように絵で表しながらコミュニケーションをとっていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	相手を尊重しながら、私達が何を書くかテーマに沿って話し合った。
主体的に考え行動する力	3	スケジュールを確認しつつ、全体を動かすことができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	壁画を完成させるために、学年、国を超えて一人一人が協力して壁画を完成させることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	壁画に子どもたちの想いと願いを込めて、この壁画を見てくれる人に直接訴えかけられるようなものを形に表すことができていた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	完成した際、生徒たちは達成感を味わうことができた。また自分たちが考えていたアクションを継続的に実践していこうという強い意思が伝わってきた。